

# ワケ カタチには理由がある(GG)

Shape follows Function  
& Taste

## ～フェアチャイルド・リパブリック T-46



(トーイングバーは適当に作りましたが、給油ブームに干渉してしまいました。→)

フェアチャイルド・リパブリック社が米国空軍に T-37 の後継機として提案した練習機で、1985 年に初飛行しています。リパブリック社と云えば、A-10 攻撃機で、特殊な双尾翼形状が共通点です。F-14、F-15、F-35 など双尾翼のジェット機は数あれど、H 型の双尾翼を有する機体は A-10 と本機体ぐらいではないかと思えます。この尾翼と、サイドバイサイドの操縦席を有する大キャノピーとにより、とても個性的な外観を有しています。ただ、残念ながら、その後、米国空軍独自の練習機採用計画がキャンセルされてしまい、それをきっかけとして、P-47、F-105 など名機を生み出し、サンダーファクトリー(雷工場)と呼ばれた同社は会社を畳むこととなりました。



【模型について】

今は亡き英国のメイントラックス(Main Trucks)1/72 のレジンキットです。同社は高品質のバキュームキットを出すメーカーでしたが、私の記憶では同社のレジンキットは、唯一、このキットだけだったように思います。なお、香港のアニグランからも本機体のキットが出ていますが、透明レジン製のキャノピーの透明度が低く、その点、バキュームキャノピーだった本キットに軍配が上がりました。

(中川裕幸 2024年3月)